

平成 26 年 7 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社カイオム・バイオサイエンス
代表者名 代表取締役社長 藤原 正明
(コード：4583 東証マザーズ)
問合せ先 取締役コーポレート本部シニアディレクター 清田 圭一
(TEL. 03-6383-3746)

ADLib® axCELL に関する中国特許査定のお知らせ

このたび、当社基盤技術の一つである ADLib® axCELL に関する中国出願について、特許査定を受領いたしましたので、お知らせいたします。

今回、特許査定を受領した発明は、従来技術では抗体を作製することが困難であるような、複雑な構造を持つ膜タンパク質に対する抗体取得を可能にする技術に関するものです。本特許は ADLib® axCELL に関する初めての特許査定であり、日本・米国・欧州にも出願済みです。本特許の成立により、ADLib®システムに関する知的財産権がさらに強固に保護され、事業における優位性を高めることとなります。

【発明の名称】 「細胞表面に発現したタンパク質に対する抗体作製法」

【特許出願番号】 200980154881. X

【特許権者】 株式会社カイオム・バイオサイエンス

当社では、本技術を活用して、複数回膜貫通型タンパク質 (GPCR を含む) をはじめとする膜タンパク質をターゲットとした抗体取得を進めております。複数回膜貫通型タンパク質は多くの疾患に関連していますが、抗体の作製が困難なことから、これまで複数回膜貫通型タンパク質に対する抗体医薬品は数えるほどしかありません。今後、ADLib® axCELL を用いた抗体取得と別途実施している抗体ライブラリ改良の成果を組み合わせることで、がんや自己免疫疾患、感染症等の治療に臨床応用できる抗体医薬品の作製を進め、将来、これらの疾患の患者の皆様へ安全かつ有効な抗体医薬品を提供することを目指して参ります。また、本特許は当社の経営基盤をより盤石にし、中長期的に当社の企業価値の向上に寄与するものと考えています。

なお、本件が平成 26 年 12 月期業績に与える影響は軽微であると考えております。

<ADLib® axCELL (アクセル: antigen expressing cell の略) >

ADLib®システムの応用技術の一つで、当社が独自開発を行った技術です。抗体を作製したいターゲットである膜タンパク質を細胞の表面に発現させ、この細胞を用いてターゲット膜タンパク質に対する抗体を選別します。より天然の状態に近い膜タンパク質を抗原として用いることが可能なため、従来技術では抗体取得が困難とされていた複雑な構造の膜タンパク質に対する抗体を取得することが可能になります。

なお、ADLib®はカイオム・バイオサイエンスの登録商標です。

<GPCR (G-Protein Coupled Receptor、G タンパク質共役型受容体) >

GPCR と総称される一連の膜タンパク質群は、生体のすべての細胞において発現しており、生命維持に不可欠な身体機能の多くに関与しています。また、GPCR は疾患と関連している場合も多いため、GPCR を標的とする医薬品が、多岐にわたる対象疾患について開発されています。その一方で、GPCR に対する創薬研究には未開拓の領域も多く存在し、産学問わずこの領域での研究が盛んにおこなわれています。GPCR に対する有効な抗体医薬開発戦略が確立されれば、大きな潜在市場の掘り起しが可能となります。

<ADLib® axCELL システム技術情報>

<http://www.chiome.co.jp/technology/adlib.html#axCELL>

以 上